【中国人日语作文大赛获奖者访日感想文 - 4】我始终相信,爱可以 感化一切(中国人民大学 池 翰林)

池 翰林 中日桥段 2025年03月04日 23:04

中国人日语作文大赛获奖者访日感想文 - 4

我始终相信,爱可以感化一切一一访日见闻与感想 ◆中国人民大学 池 翰林

不够明确,但这份初心却始终未变。

2025年2月17日~23日

天,像往常一样翻阅手机时,偶然看到了这场比赛的相关报道。那一瞬间,我便萌生了 强烈的想法——"我也想参赛!"当时,我正处于大二上学期,对未来的专业方向仍感到 迷茫。其实,回想三年以来的大学生活,许多事情都出乎我的意料。从填报志愿的那一 刻起,"计划赶不上变化"便成为我的人生格言之一。然而,又正如"塞翁失马,焉知非 福",我也未曾想到,自己竟能在学习日语的过程中获得如此多的成果。

第一次赴日是以交换留学生的身份,而这一次赴日便是以"桥梁"的身份。我从未想过自

己会踏上学习日语的道路,更未曾料到会与中日交流产生联系。回顾过去,仍清晰地记

得在新生研讨课上,我曾说过:"希望能为东亚和平贡献一份力量。"或许当时的目标还

大三上学期,我选修了一门叫做《当代中日关系》的课程。在结课论文中,我写下了这

样一句话:"我不仅是这门课程的学习者,更是致力于推动中日关系发展的实践者。"正

先从这场比赛(中国人日语作文大赛)开始谈起。我与这场比赛的相遇源于偶然。某一

是在那一刻,我意识到,自己已然成为了一座沟通两国的桥梁。

进入大二下学期,我迎来了人生第一次交换留学。刚到日本不久,曾根老师便向我推荐

了这场作文比赛,问我是否愿意尝试。我毫不犹豫地回答:"我要报名!这个月内就能提

交作品。"就这样,我的第一篇参赛稿件诞生了。如今回想起颁奖典礼上唐吉诃德

(PPIH)赠与的书籍《运》,其中一句话让我印象深刻:"先勇敢尝试,然后再深思熟

此次访日,我们参观了许多地方,见到了许多来自政界、商界、媒体界、教育界的人

士,无一不热情地欢迎我们。这让我想起之前我们学校举办的日本大学生代表团来访交 流活动——那是我第一次参与的中日交流活动。也许是因为身处日语系的缘故,我总觉

得身边的交流活动特别多。临行前收拾行李时,舍友曾好奇地问:"为什么你们日语系有

那么多交流活动?"如今回头看,中日之间的这些交流,正是不可或缺的桥梁。

」度の創設

虑。"这句话不正是对我大学生活的最好诠释吗?

困った

防災

抑制



2025年2月7日~23日

此次访日让我收获良多。临近归国之际,我的内心百感交集,甚至难以用言语来准确表

达这份情感。感动、感谢、感激……这几日的经历,已然成为我心中珍贵的记忆,陪伴

我继续前行。衷心感谢日本侨报社:日中交流研究所主办此次大赛,感谢热情欢迎我们的

各位议员,以及全日本空輸株式会社(ANA)、唐吉诃德(PPIH)、东芝国际交流财

团、朝日新闻社、NHK、日中国際教育交流協会等企业、团体和个人给予的支持,更要

感谢所有为中日友好默默付出的人们。我相信,每一个人、每一件事,都在向更加美好

最后,再谈一谈中日关系。作为日语专业的学生,我有时能够亲自参与一些中日交流活

只是作为一个普通人,我默默希望着"Love & Peace"的那一天能够早日到来。但可以明

确的是,在这些交流中,我能切身感受到两国之间呼吁"Love & Peace"的声音。因此,

我想说,我们或许可以相信这些交流能够带来真实的改变,亦或是,我们自己也可以成

为推动和平的实践者。

的方向发展。

动;但毕竟我的专业并非国际关系,很多事情我知道自己并没有资格去擅自阐述意见。





賞者は、安田奨学財団よ り月額10万円(最大4年 480万円) 返済義務無し の奨学金応募資格授与。

歩みに触れ「時間を超え は、コンクール20年間の

滞在中、中国とゆかりの

者で、東京の大学院の博

会場には、過去の受賞

士課程で学ぶ留学生3人

学生たちは23日までの

った経験を書いた。

つ回は1等賞の5人を含

のコンクールが果たす

しい状況にある中で、こ 中国と日本の関係が難 が、私もそう強く思う。 を何人かが語っていた

役割は大きい」とたたえ

り、人と人の縁の大切さ

大使は「心と心のつなが

きた谷野作太郎・元中国

コンクールを支援して

た場所だからです」と楽 の葉の庭』の舞台となっ

しみにしていた。

あいさつした林さん

た見えない糸が私たちを

讀意新聞 ☑ KYODO 朝日新聞 ② #日新聞 ② 東京新聞 聖教新聞 📑 ####

主催: 日本僑報社 東京都豐島区西池袋 3-17-15 Tel 03-5956-2808 Mail 1122@duan.jp

後援: 中華人民共和国駐日本国大使館、読売新聞社 ほか

中国大使館にて第7回表彰式・交流会が盛大に開催

受賞作品集シリーズ

7 【鈴木玲子】 受賞者来日 喜びの声

喜びを語った一いずれも千代田区で

最優秀賞に輝いた林芳菲さんが流ちょうな日本語で受賞の

ISBN 978-4-86185-353-1 定価 2500 円+税

N評例 中国网 人民中国

中国滞在エピソード

中国留学

第8位(2021.8.18) 第7位(2017.12.27)

に輝いた大連外国語大4

から6万人以上が応募し 年に20回を迎えた。これ 2005年に始まり、24 競うだけでなく、社会の 年、林芳菲さん(22)は「言 やる大切さを学び、AI までに400以上の学校 互理解と促進を目指して びを語った。 台となっています」と喜 していたが、実際に日本 能)を日本語学習に生か で、当初はAI(人工知 大で留学生活を送る中 さんは24年春から立命館 変遷を記録する貴重な舞 クールは単に日本語力を 葉では言い尽くせないほ と感謝しています。コン へと交流して相手を思い 時代の日中交流」。林 第20回のテーマは「A コンクールは日中の相

編の作文が人生を変える 安田奨学財団 合格感想文特集 中国人の日本語作文コン クールで三等賞以上の受 毎日新聞2025.2.22 (第3種郵便物認可) 中国人学生たちが日本語で日中 受賞した6人や関係者 「中国人の日本語作文コンクール」で 交流への思いをつづった「中国人 記り国人の一本語作う の日本語作文コンクール」 ・日本僑報社) の受賞者6人が来 中国人の日本語作文コンクール 18日には6人や関係者ら による「ご報告と感謝の集い」 衆院第2議員会館(千代田区)

の活用頻度を減らしてい 民大3年▽欧芊序さん 池翰林さん(20)―中国人 受け継ぎ、次の世代へと ったが、第20回の節目の 年。日本への招待はこれ つないでいきます」と語 (20)=大連外国語大3年 たのはいずれも1等賞の からは私たちがその糸を までは最優秀賞の1人だ (20)=天津外国語大3 >徐思琪さん(20)―復日 〈3年▽麻月朋さん(21) 林さんのほか、来日し 吉林大3年▽林婧さん

行きたいです。大好きな

新海誠監督のアニメ『言

由行動の時に新宿御苑に を見学する。麻さんは「自